

研究課題の名称

非弁膜症性心房細動患者を対象とした直接作用型経口抗凝固薬の服薬アドヒアランスの実態調査

研究の目的及び意義

NVAF 患者を対象として、日常診療下における抗凝固療法に関する患者の病識・薬識レベル、服薬指導内容、及び DOAC の服薬アドヒアランスの実態を調査し、服薬アドヒアランスに影響を及ぼす因子を検討する。

本調査によって、国内における DOAC 服薬中の NVAF 患者での服薬アドヒアランスの実態を明らかにすることができる。さらに、1,200 名という多数の患者を対象とすることで、病識・薬識レベルと服薬アドヒアランスとの関連性の検討とともに、服薬アドヒアランスに影響する可能性のある種々の因子の検討も可能であると考ええる。

本調査で明らかになった情報を薬剤師による服薬指導に反映させることによって、DOAC の服薬アドヒアランスの向上を図ることができると期待される。

研究対象者の選定方針

選択基準

- 1) 同意取得時に、3 か月以上同一の DOAC（アピキサバン、エドキサバン、ダビガトラン、リバーロキサバン）を服薬している患者
- 2) 同意取得時の DOAC の処方日数が 28 日以上 90 日以内の患者
- 3) 本研究の説明を受け、本人より文書での同意が得られた患者

除外基準

- 1) 同意取得時の年齢が 20 歳未満の患者
- 2) 介入研究に現在参加中又は参加予定の患者
- 3) 入院中又は本研究参加中に入院予定の患者
- 4) 保険薬局で残薬調整をうけている患者
- 5) 分割調剤を受けている患者
- 6) その他、研究責任者又は研究分担者が不適切と判断した患者

研究予定期間 承認日（2019 年 11 月 12 日）から西暦 2020 年 3 月 31 日